

令和 - UME no UTAGE - 音頭 振付解説

振付：佐藤智彦

前半十六小節

うちわ使用…(柄が丸く、手のひらでくるくると回せるものと回せるもの)
進行方向…反時計回り(輪踊り以外の場合、足踏みにてその場で踊る)



前奏+4呼間
右手でうちわの軸を持ち、左手で地紙を押さえて構える

♪前奏



4呼間
右足から3歩進みながら、うちわを持った右手のひらを上、右手を目の高さへ弧を描くように広げる

♪前奏



4呼間
(②の左右反対)
左足から3歩進みながら、手を入れ替え左手のひらを上、左手を目の高さへ弧を描くように広げる

♪前奏



2呼間
右足を1歩進めながら、右手を頭上にかざし、左手を右二の腕に添える

♪前奏



2呼間
(④の左右反対)
左足を1歩進めながら、左手を頭上にかざし、右手を左二の腕に添える

♪前奏



2呼間
右足を引きながら、両手を添え、右斜め下へ伏せ流す

♪前奏



2呼間
(⑥の左右反対)
左足を引きながら、両手を添え、左斜め下へ伏せ流す

♪前奏



4呼間
右足を1歩前に出しながら左腕を斜め前に伸ばし、うちわで左二の腕、右太ももを軽く打ち、右斜め前に腕を伸ばしながら、右足を戻す

♪前奏



4呼間
(⑧の左右反対)
左足を1歩前に出しながら、左手のひらで右二の腕、左太ももを軽く打ち、左斜め前に腕を伸ばしながら左足を戻す

♪前奏



4呼間
右足から3歩進みながら、両手のひらを顔の横から撫でるように大きな輪を描き、手のひらを頭の上に構える

♪前奏



4呼間
左足を1歩前に出しながら、両手を伏せて山開きをし、右足を前に出し揃えながら、両手のひらでチョンと手拍子を打つ

♪前奏

ももど
りのこと
えの
こいし
き
はるき
たる
らし
ももど

り
こえの
こい
し
き
はるき
た
る
らし
Dance for joy!

後半十六小節



4呼間
右足から3歩進みな
がら、両腕を前に伸
ばしてうちわの柄を
両手のひらで持ち、
くるくと3回転が
し、3歩目で左足を
右足の横に添え上げ
る



4呼間
(12の左右反対)
左足から3歩進みな
がら、両腕を前に伸
ばしてうちわの柄を
両手のひらで持ち、
くるくと3回転が
し、3歩目で右足を
左足の横に添え上げ
る



4呼間
右足から3歩で半周
廻りながら、両腕を
頭上で風にそよぐよ
うに、右左右と舞
い、右頭上で軽く宙
を押さえるように手
を止め、3歩目の左
足は右足横で軽くス
タンブ



4呼間
左足から3歩で半周
廻りながら、両腕を
頭上で風にそよぐよ
うに、左右左と舞
い、左頭上で軽く宙
を押さえるように手
を止め、3歩目の右
足は左足横で軽くス
タンブ



4呼間
左足を1歩前に出し
ながら、左頭上で左
手とうちわでチョン
と打つ。
続けて、うちわで左
太もも、左手のひら
で左太もも、うちわ
で右太ももを軽く打
ち、左足を引く



4呼間
右足を1歩前に出し
ながら、右頭上で左
手とうちわでチョン
と打つ。
続けて、左手で右太
もも、うちわで右太
もも、左で左太もも
を軽く打ち、右足を
引く



うめの	はな	り	いまま	かぎ	しに	してな
はるき	れば	にわ	ますそ	はな	の	うめ

う	め	は	さ	な	なり
ひと	り	みつ	い	つ	や



4呼間
右足から2歩進みながら、手の甲を上
に、右左の順に腕を
斜め上に開き、両手
の平を上に戻す



4呼間
胸前でチヨチヨンが
チヨンと手拍子を打
つ
*曲のサビの部分の
みチヨチヨンがチヨ
ンをさらに2回追加
する

い	ま	は	る	ひ	の	な	さ	か	り	く	ら	り	は	る	ひ	の	な	さ	か	り	く	ら	ん	く	ら	さ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑱の後は⑳へ戻り、以降㉑から㉒を繰り返す

《令和-UME no UTAGE-音頭》

いつもの夏と違って、今年もまた夏がやって来る。

昨年《令和-UME no UTAGE》でビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たした、『はるひの with DODOWAKA』。

【万葉集×EDM】という斬新なコンセプトで活動する彼らが、会いたくても会えない、お祭りや花火、盆踊りといった、いつもの夏が楽しめない想いを胸に、令和時代へのアンセムであるデビュー曲を『音頭』に《再構築》。

緊急事態宣言下のトーキョーで、メンバーが一度も顔を合わせることなく、リモートワークでレコーディングし、装いも新たに

《令和-UME no UTAGE-音頭》として生まれ変わりました。

Ayaの透明感ある歌声が、爽やかな風のように若い女性の気持ちを等身大に語ります。

ちよっぴり懐かしさを感じるお祭りムードとともに、思わず踊らずにいられない一曲をお楽しみください。

《令和-UME no UTAGE-音頭》の振り付けに関して

辛い日々が過ぎて、いつもの日常を取り戻しつつある中、花や自然をありがたく愛でる気持ちをイメージし、舞踊で使う振り付けを取り入れました。

進もうとすれどなかなか進めず、それでも前に進んでいく、という今の時勢を念頭に置いています。

また、手の動きで祝いたい気持ちを、うちわで華やかさ表現しました。

たくさんの方に踊っていただけたら幸いです。

令和-UME no UTAGE-音頭

作詞：葛井連大成（ふぢいのむらじおほなり）・田氏肥人（でんしのうまひと）
・山上憶良（やまのうえのおくら）・陰陽師儀氏法麿（おんやうしぎしののりまる）
・筑前介佐氏子首（すけさしのこおびと）・E.T.

作曲：上野紘史

編曲：上野紘史

演奏：はるひの with DODOWAKA

2020年7月15日ビクターエンタテインメントより配信リリース